

# 第4回定例会 一般質問

# 区政をただす

## (仮称)区民活動センターで

### 相談などの住民対応を

自由民主党議員団 篠 国昭



地域では、町会や自治会が、防犯など区民生活を守る公共・公益活動に取り組んでいる。区は、地域センターを(仮称)区民活動センターに転換するとしているが、その目的は何か。また、転換後も、住民からの相談対応や案内などを行うべきではないか。

### 使用料値上げは段階的に

今回の施設使用料の見直しは、区民のさまざまな活動に大きな影響を及ぼす。大幅な値上げとなるスポーツ施設に

## 妊婦健診の助成を拡充し

### 子育て支援を充実せよ

公明党議員団 岡本 いさお



子育てのスタートとなる妊婦健診は、出産までに平均で14回受診する。区は、この健診費用の5回を公費で負担



区役所総合窓口

①児童・生徒の安全安心の観点から、職員室に緊急地震速報装置を設置すべきではないか。②区は、20年度から5

については段階的に適用するなど、弾力的な対応を考慮すべきではないか。

### 区長 本来の負担額と急

激な負担増を勘案し、改定額の上限を現行料金の1.5倍までとしたもので、負担いた

### 少子化対策は家族尊重型で

「子どもと家族を応援する日本」重点戦略検討会議が提唱する「ワーク・ライフ・バランス」なる言葉を、家族を



哲学堂公園テニスコート

否定する道具にする人もいる。こうした方向に進めると、政府が最優先課題とする「ワーク・ライフ・バランス」と「家族再生」という命題とが裏腹になる恐れがあるのでは。

### 区長 男女共同参画基本

計画を策定中で、その中で「ワーク・ライフ・バランス」に重点的に取り組む。働き方を見直し、家族が協力し合うこ

## 児童館を縮小せず

### 待機児童の問題に取り組み

日本共産党議員団 小堤 勇



児童館を9館に縮小し、放課後の遊び場と民間委託する児童クラブも小学校に移行する予定である。①待機児童の問題の解消は、児童館を減ら

### 特別支援教育の条件整備に

### 早急に取り組み

①より成果を上げるには、40人学級ではなく、少人数学級にすべきではないか。②臨床心理士を増員し、巡回相談

## 子育て支援を充実せよ

民主クラブのつづ 恵子



①区は、子育て支援団体と協定を結び実施していた「子育てサポートルーム」を18年度末に終了した。親同士が交流できる場として「子育てひろば」があるがスタッフは常駐していない。乳幼児親子の支援事業には、子育ての悩みを聴いてくれるスタッフの役割が大きい。区の考えは、

を増やすべきではないか。

### 教育長 ①今後も少人数指導の

②相談員が巡回、臨時相談も行っており、対応できている。施設使用料改定を撤回せよ

### 区長 ①意見交換会など

①手続きが区民不在で拙速に進められた。条例案は提出すべきでないのでは。②市場原理だけを徹底した使用料の引き上げは、利用者の立場、

## 子育てひろば

まちづくりに新たな視点を

このからのまちづくりには、



子育てひろば

た。一定の理解は得ている。②施設の修繕などを充実し、サービスを継続するため、改定が必要である。③助成金の形で、支援の量や程度を見る必要があると考えている。



児童館

②(仮称)U18プラザは、乳幼児から中高生まで幅広い対応を想定している。しかし、乳幼児親子などへの対応には、相談や見守りが重要であり、(仮称)地域子ども家庭センターに「子育てひろば」を併設し、対応すべきではないか。区長 ①「子育てサポートルーム」の事業成果を踏ま

は、2回目以降も意見交換会を続けることだが、①今後、どのように話し合いを進めるのか。②まちづくりの経験があり、住民と区をつなぐファシリテーターの役割ができる者を参加させてはどうか。区長 ①地域の課題解決のため、地区全般的まちづくりを検討していく。②まちづくりの検討を進める過程で、専門家の力も活用したい。

本町二・三丁目地区のまちづくりに住民意見を反映せよ  
本町二・三丁目地区のまちづくり説明会が開催されたが、地域住民に説明会の趣旨が正確に伝わっていないかった。区